## たけのうち通信 Wol.91

Takenouchi News

公明党

発行責任者: 竹野内 猛

〒236-0052 横浜市金沢区富岡西3-38-1-101 TEL:080-9804-9782 FAX:045-345-4345 E-mail:info@takenouchi-takeshi.com

略歴

昭和49年生まれ。大分県出身。48歳。金沢区富岡東在住。妻と2女の4人家族。平成9年、創価大学法学部卒業。 平成15年、米国・ワイオミング大学大学院 公共政策学 修士課程修了。大手物流会社を経て、平成27年4月、横浜市会議員に初当選、現在2期目。金沢消防団第一分団所属。



# 第3回定例会報告《後半》 決算特別委員会での論戦より

第3回定例会では各局事業の決算審査を実施。私はこども青少年局と道路局の事業審査で質問に立ち、施策の課題を質し、充実に向けた提案・要望などを行いました。以下、抜粋してご報告します。



### こども青少年局

### 幼稚園・保育園バスの安全対策

通園バスでの園児置き去り事故防止へ、形式的な通知だけではなく、多忙な現場の状況を考慮した対策が必要で、横浜市幼稚園協会と連携して実効性のある対策を検討していくべきです。

### ♥局長答弁

協会と意見交換の場を設け、安全管理ガイドライン作成において、現場の意見の反映に協力頂きました。また、各園の取組事例を全施設に共有することも検討しています。

### 保育所等における医療的ケア児の受入れ推進へ

看護師の確保と配置へ、支援の充実を図って頂きたい。

### ● 局長答弁

複数の看護師を配置して、常時受入れが可能な園を、「医療的ケア児サポート保育園」として制度化することを検討しています。さらに受け入れが進むよう、保育所での研修、看護師の実習など、支援の拡充を積極的に検討していきます。

### 保育士等の処遇改善及び人材確保をさらに

財政状況は厳しいですが、保育士等の確保は重要な課題であり、横浜市独自の住居手当など、引き続きしっかりと取り組む必要があります

#### 🌽 局長答弁

必要な財政措置が取られるよう、引き続き国へ強く要望すると同時に、保育所・幼稚園関係者と連携を図りながら保育士等の採用と定着の取組を推進し、人材確保に全力で取組みます。

### 待機児童解消へ既存施設の活用を

保育所等の利用申請者数が近い将来、減少に転じると見込まれることから、既存施設を活用した1・2歳児の受入れ枠強化をより一層図るべきです。

#### ♥ 局長答弁

本年度は新たに、老朽化した設備等の改修とあわせて、1・2歳児の定員を増やした場合の加算を実施。さらに、3~5歳児枠を削減して1歳児の定員を増やした場合の補助も行っています。既存施設の一層の活用が進むよう、さらなる拡充策を検討します。

### 親子の居場所のさらなる充実を

親子の居場所事業は、安心な出産、子育てのための、大切な環境整備です。居場所の拡充、支援の質や認知度の向上に取り組んで頂きたい。

#### 📂 局長答弁

地域における子育て支援の場や機会のさらなる充実を図ります。またスタッフの研修、スキルアップで支援の質の向上を図ります。

### 児童虐待防止へ重層的な見守り体制を確立

切れ目ない子ども・家庭への支援のため、公明党が議論を リードして「子育て世代包括支援センター」を全区のこども家 庭支援課に整備。さらに児童虐待の未然防止対応などを行う 「こども家庭総合支援拠点」機能が、今年10月に全区で整備 完了しました。

### 學局長答弁

親子に寄り添った幅広い子育て支援とともに、子どもの権利を守る専門的支援の両機能が全区で整備されたことで、今後より効果的な支援が可能になると期待しています。



### ■現場の声、課題を届ける

10月14日の議会最終日に、公明党市議団から市長へ来年度予算編成に向けた要望書を提出。市民生活の幅広い課題を踏まえた455項目について、市長より「しっかりと受け止め予算編成にあたる」旨応じて頂きました。

### 道路局

### 公明党が推進を求めてきた、 土のうステーションの設置状況について

### ♥ 河川部長答弁

これまでに西、南、保土ケ谷、磯子、金沢、都筑の6区で合計 30基設置。令和4年度は、南区でさらに2基設置する予定で す。引き続き、過去の浸水被害の状況や、地域の要望を伺い ながら、設置増加に取組みます。

### 道路の安全を守る取組を着実に!

公明党より予防的な道路管理が大切との観点で提案し、10 年前から実施している**路面下空洞調査**事業のこれまでの成果 について。

#### ♥ 道路部長答弁

緊急輸送路及び幹線道路などを対象に、今年度末までに 合計約1.050キロメートルの調査が完了します。毎年50箇 所程度の空洞を発見し、舗装を切り開き、原因を調査したう えで埋め戻しています。

脱炭素はもちろん、省エネや交換等の維持管理費用の縮減 につながる道路照明灯のLED化について、着実な取組をお願 いしたい。

### ● 局長答弁

これまでに約7割の道路照明灯のLED化が完了。一括調 達で材料費の大幅なコスト削減を行いながら、6年度までに LED化を完了できるように進めていきます。

### 横浜市大病院は創立150年



明治4年にハヤ シライスの生み の親である早矢 仕有的氏の呼び かけにより「横浜 仮病院」として創 設。関東大震災で の焼失など幾多

の困難を乗り越え、横浜市民375万の命と健康を護る 中枢機能を果たしています。10月1日に金沢公会堂で 記念イベントを開催しました。

### 3年ぶりの区民まつり!

10月14日、金沢区いきいきフェスタを海の公園 で。規模を縮小しての開催ですが、心地よい秋の天気 の下、多彩なステージやブースを楽しむ、多くの皆さ まで賑わいました。

### 金沢シーサイドライン「並木北駅」の 雨漏りの解消へ

#### ●局長答弁

横浜シーサイドライン社で応急的な対応を行っています が、計画的な修繕を進めていく必要があり、管理者である国 土交通省と調整を進めていきます。

※並木北駅・幸浦駅へのエレベーターの早期設置も、併せて 要望しました。

### 地域交通の維持・充実へ

高齢化の進展とともに今後さらに小規模な需要への対応が 必要です。

#### ● 局長答弁

市内で新たにワゴン型車両を用いた実証運行を開始する 予定のほか、地域交通サポート事業として初の試みとなるデ マンド型交通の実証実験を開始したところです。今後も取組 を拡充していきます。

地域交通の充実は喫緊の課題であり、全市を挙げて強力に 推し進めて頂きたい。

### 🗲 平原副市長答弁

今回新たに結成したタスクフォースは、私がリーダーとな り、地域交通の関係局が、検討テーマに応じてメンバーとな る柔軟な組織体制となっています。既成概念にとらわれない 柔軟な発想でアイデアを出しあい、持続可能な「地域の総合 的な移動サービスの確保」の実現に向け、スピード感を持っ て、検討を進めていきます。

### 金沢シーサイドFM85.5開局!





10月1日に、ビアレヨコハマ内に開局した「金沢シー サイドFMIに伺い、松原勇稀代表にスタジオ内をご案内 頂きました。金沢区の人をつなぎ、地域を元気にしたい! との思いが詰まったラジオ局、私も応援していきます。











